

## 4年生(日常の風景)



写真は加工して掲載しています

4年生ともなるとずいぶんとしつとりと学習ができるようになってきます。

たまたまこの日、教室には誰もいないのかなあと思って、そつとのぞいてみると4年1組はし〜んと静まりかえる中、算数のテストをがんばっていました。

4年生は今、国語で「アップとルーズで伝える」という説明文を学習しています。この単元では、「アップでわかる細かい部分」と「ルーズでとらえる広い部分」のそれぞれの特徴を読み取ったり、段落と段落がどのようにつながっているか考えたりしながら読みを進めていきます。



写真は加工して掲載しています



写真は加工して掲載しています

本校では、授業において「聴き合い 学び合う」授業の研究を進めています。「友だちの考えをしっかりと受け止めながら聴く。」

「自分のわからないこともわかったことも自分の言葉できちんと伝える。」これらの活動を通して、しっかりと自分の考えを深め、判断し、表現できる児童の育成に努めています。



4-1



4-2

教室の背面も徐々に作品が掲示されてきました。3年生からスタートしている毛筆も筆の運び方がずいぶんと上手になってきました。

図工では、さまざまな技法を使ってデザインしました。ビー玉を転がしたり、スタンプのように押しつけたり、水を多く含ませてぼかしてみたり……。これが結構「あじ」があっているのです。すてきなデザインができましたね。今度はこれらの技法を使って作品作りに挑戦します。



廊下には、自主学习ノートのコピーが掲示されていました。「まなぶ」の語源は「まねる」だといわれています。友だちのまねをすることで、お互いに影響し合い、ともに伸びていってほしいなと感じました。